

VGSU グローバル版

令和6年7月17日 制定

信州大学は、特定分野における世界トップレベルの研究力を基盤とし、わが国における『準トップ大学』としての地位を確固たるものとするを目的に、Vision for Greater Shinshu University (VGSU) 構想を掲げている。この度、本学は、他の地方大学に先駆けて地域中核大学 J-PEAKS 12 大学の一つに選定された。全国に広がる国立大学は、地域の知の拠点として地域が求める人材を育成し、地域経済を活性化することが期待されている。この点に鑑みると、「J-PEAKS 大学信州大学」の社会的使命はもう一段上にあるべきである。すなわち、人類の平和と福祉、安寧のために、現在の重要な概念であるウェルビーイングとサステナビリティに資する人材育成を目指さなければならない。その過程において地域への貢献が果たされるのである。狭隘で近視眼的な視点での地域貢献、地域振興を目指すのではなく、広く世界に目を向け、未来へと繋がる教育と研究を推進し、その成果を地域に還元することで、初めて地域の真の知の拠点となることができる。このような強い信念、高い理念に基づき、VGSU のグローバル版を策定した。

VGSU グローバル版は、「国際卓越水準の実現を目指す信州大学の覚悟(目指すべき方向性) Shinshu University's Commitment to Achieve International Excellence」とも呼べるもので、そのバックボーンは DEI マネージメント(Management under Diversity, Equity and Inclusion)の哲学に裏打ちされている。これからの信州大学には、「世界の中の信州大学」を意識しながら、ギアを一段あげて、国際的な教育、研究、社会貢献活動を展開していくことが求められている。

以下に VGSU グローバル版のポイントを示す。

1. 外国人教員の増員

- **外国人教員数の目標:** 2030年(令和12年)度までに本学の教員の10%以上(100名以上)を外国人教員とする。
- **環境整備:** 外国人教員の採用を促進するため、新たな「外国人教員枠」を設ける。助教(テニュアトラック)として5年間の審査を経て任期の定めのない教員となる制度を導入する。

2. 留学生の増員

- **留学生数の目標:** 2030年(令和12年)度までに本学の学生の10%以上(1000名以上)を外国人留学生とする。
- **環境整備:** 留学生が円滑に学業を進められるよう、生活支援、学習支援の体制を充実させる。
- **国際交流プログラムの拡充:** 多様な文化背景を持つ学生が共に学び、交流する機会を増やす。

3. 英語による教育プログラムの開発

- **英語対応科目の拡充:** 2030年(令和12年)度までに、本学で開講する授業科目の半数以上を英語対応とする。
- **グローバルカリキュラムの導入:** 国際標準に準じたカリキュラムを導入し、学生が世界で活躍できるスキルを身につけることを目指す。

4. 国際連携の強化

- **戦略的パートナーシップ:** 海外の大学や研究機関との連携を強化し、共同研究や学生交流を促進する。
- **国際共同プロジェクトの推進:** 国際的な研究助成金や寄付金の獲得を目指し、グローバルなプロジェクトを推進する。

5. 地域への国際的貢献

- **地域連携の深化:** 地域社会との連携を深め、地域のグローバル化を支援するプロジェクトを推進する。
- **地域産業の国際競争力強化:** 地域企業と協力し、国際的な競争力を高めるための研究開発を支援する。

6. DEI マネージメントの推進

- **多様性の尊重:** 多様な文化背景を持つ教員と学生が共に学び、働く環境を整備する。
- **公平性と包括性の確保:** すべての構成員が平等に機会を享受できる環境を確保する。